



園部共同作業所 だより

園部共同作業所発行

〒622-0011
京都府南丹市園部町上木崎
町入道32
電話0771-62-3249
FAX0771-63-2941

NO 91

園部共同作業所と

”入道”について

南丹つぼみ会園部支部長
河原 信之

園部上木崎入道三三二二二は、園部共同作業所の住所であり、しかもグループホーム”つぼみ”とが小道で結ばれている。ことに不思議な因縁を感じる。そこにこんな昔話が伝わっている。

※

……むかしむかし若狭から丹波園部の大樹観音の社に向かう旅人に、夕方の暗闇の森の中から、カラコロンと音がしたとたん、高ゲタをはいた、見上げる程のひとつ目の大入道がたびたび現れ、おどし食べ物など奪い、困らせたそうなの……

この大入道の正体は、ひとをだます狸の仕業だったとも言われている。

大樹観音の辻は、若狭から日吉の海老坂峠を経て、船岡から千寿を経て曾我谷、内林、上木崎を経て若狭街道や、竹井の原山峠を経て篠山街道の起点で、京都と丹後、但馬方面へ観音峠を経て結ぶ街道が交わるところで、観音堂付近には宿泊施設があったことが記録にもあり、道案内の道標が今も残っている。
また不気味な森は、日蓮宗大乘寺の墓地があったところと言われ、その名号を示す園部町内では大きく立派な碑が、この小道端に今も残っている。

『新緑の若狭街道』というCATVの放映に入道のイラストなど協力したことが縁で、このたびビデオとなったものである。

奇しくも、本年五月八日、本町の陽だまりで南丹つぼみ会の総会が行われ、来賓として参加頂いた杉山所長の案内で、久しぶりに改築されたグループホームを家族会で訪れ、この”入道”の話となり、このビデオを機として、家族会と作業所の深い交流を感じた。



行事・レクリエーション

- 四月八日 お花見
スプリングス日吉で、グラウンドゴルフをやり、あとバーベキューで楽しいお花見でした
- 五月一日
障害者スポ、ツフェステイバル
丹波自然運動公園
- 五月二五日 ソフトボ、ル交流試合

園部共同作業所の 継続が約束されたこと

このたび、杉山泰佑さんが、社会福祉主事資格認定コースを修了された事を大変うれしく思っています。杉山俊夫君が始められた作業所は、当初、友人宅や、他の施設の一部を間借りしての運営でした。それが、三十年以上継続して運営され、今度この運営の継続が確実に保証されることになったと思えます。これを契機としてますますの活躍を期待しております。 園田 義次



お花見とグラウンドゴルフ

谷口 佳隆

今年のお花見は、スプリング日吉で、バスで、ダムを回り、その後、グラウンドゴルフをして、昼食は、バーベキューでした。ダムの周りを、バスで回りながら桜を見ていました。ダムには、いろいろな丸太が浮いていました。作業所の仕事の流木磨きも、日吉ダムにあるのを使っているとのこと。グラウンドゴルフも、一回八木のグラウンドでした事を覚えていいます。今回は、たくさん商品が用意されていきました。自分は、最後にシヤツが当たりました。いい記念になりました。バーベキューはグラウンドゴルフをしたチームで分かれて食べて、自分の班には、泰佑さんが肉を一枚ずつ焼いてくれました。おいしかったです。ご飯もたくさん食べれました。満足しました。ありがとうございました。



行寄贈品 (平成二十五年三月、六月二〇日現在)

- 児島美由紀様 ジャガイモ
- あたご電子様 ジュース
- 佐藤和子様 ジュース
- 的場利三郎様 お菓子

ありがとうございます。

楽しかった一泊旅行

私は今度の一泊旅行は十三年ぶりです！
 去年湯浅さんと旅行委員になりまして。
 今年の一泊旅行は北陸、芦原温泉と福井県恐竜博物館見学の旅でした。最初は行くか行かないか迷っていましたが行くことに決めましたので園部大橋を九時に出発、バスは一路福井県に向かいました。今回の一泊旅行の参加者は十六名、運転手は桂こうたろうさんとしました。京都縦貫道通り加斗PAで休憩をとりました。休憩を終えてバスは武生IC、ここで昼食をとりました。「越前そばの里」又このおもしろい事、おいしい事、おもしろい事、おいしい事！「めがねミュージアム」の見学、トニミヤさんや、王さん、野際陽子さんがかけてくれたメカネ、色々なメカネがありました。次に行った所は現存最古の天守閣「丸岡城」でした。ここで一番上の天守閣へ登りたかったのですが、もし落ちたらダメと思ひ登りませんでした。ここで杉山先生が一筆計上、火の用心、お仙泣かすな馬こやせと言われました。私はこの意味がよくわかりません。して後で杉山先生に説明してもらいわかりました。ここで全員で記念さつえいをとりました。そして、いよいよ一泊「先、芦原温泉「美松」に到着しました。まずタバコを一ぶつ吸い、お茶お菓子を食べ、お風呂へ入りました。この温泉の湯がとてもきれいであったまりました。そして、えん会です。ここで女将さんがあいさつに來られました。まずカニを食べ、ビールを飲み、カラオケを二曲唄いました。八時にえん会が終わり、

今度はおみやげの買い物をして、眠さを飲んだのですが、なかなか寝入れず今晩は、いもできないと思つていたら、朝方二時間程眠れホッとした。翌朝、朝風呂へ入りました。とても気持ちよかったです！そして朝食をとり、ホテルを出て、今度は福井県恐竜博物館へ行き、色々な恐竜を見ました。今度の一泊旅行で一番印象に残った所はここです！そしてここで又記念さつえいをとりました。



次に羽二重もちの里で、買い物をし、最後の見学は越前竹人形の里へ行き、ここで作られた人形にはおどろかされました！そしてここで昼食をとり、帰路に着きました。事故もなくみんな元気で園部へ帰れホッとしました。十二年ぶりの一泊旅行、とても楽しかったです！又これを機に来年も行こうと思つています。
 平成二十四年度 旅行委員 高屋 晃

ソフトボール交流戦、次はヒットです。

竹本 和宏
 五月二十八日、土曜日。

我ら園部共同作業所チームは、吉川小学校グラウンドで本来なら桜ヶ丘

クイーンズとのソフトボール交流試合を行うはずだった。しかし……

ふたを開けてみれば、試合までの流れは、アクシデントの連続。

現場に着くなり相手チームの姿はなく、いたのは老人グループのランドゴルフのメンバーのみ。

杉山所長が念入りに連絡をとっていたにもかかわらずだ。改めて、連絡をとるもつながらず、やもうえずもうひとつの会場と思われ大井町自治会グラウンドへ天池さんを派遣し、相手チームを探すはめとなる。

一時は試合中止になるのでは？と、皆が諦めかけていた時、運良く相手チームの一人を発見。

どうやら相手方に試合の連絡が届いていなかったらしい。そこで……なんとか司会ができないかと、交渉した結果、幸運にも行うことに。

帰路についた助っ人の中川さん、田中さんをなんとか捕まえ、一路、保津川グラウンドへ。

到着するなり、早速敵視察をする。此方の練習不足を痛感させられた……

此方は園部保育所近くのグラウンドで四回くらいしか練習をしておらず、本来ピッチャーである前原さんは不幸にも練習中に指を骨折。代わりを杉山所長が引き受けることになり、しかもレフトの守備に当たる大槻君は体調不良により参加できるかわからない状態。

代わりを杉山所長が引き受けることになり、しかもレフトの守備に当たる大槻君は体調不良により参加できるかわからない状態。

一方、相手は練習を見る限り攻守ともにバランスが良く、ムラがない。

そんなチームと主力を欠き、助っ人を含む急造チームとでは正直話にならないのは？と、言うのが率直な分析結果であった……

一抹の不安をぬぐえぬまま試合が開始された。

だが、実践と練習とは大きな違いがある……と、言うことを此方側が身をもって見せつけた。

男前の湯浅さんの強力な打力に皆が続き、高得点で先制を上げて見せる。

守備の面では何度かの難局を迎えながらも泰佑さんを主軸に守勢を維持。

懸念されていた助っ人メンバーも活躍し、体調不良ながらもキャッチャーとして大槻君も参戦。

唯一の失策を上げるしたならば、代打で竹本を出し、あっさりアウトに捕られた事のみだろ……

試合の流れとしては、此方は打撃電撃戦を展開。大きく得点をリードする。対して相手は打点の低さを盗塁によってカバーする作戦で積極的な攻勢をはかり、守備ではピッチャーを交代。

なんと此方の勢いを押さえにかかると、最終的に相手にとつてやはり大きな痛手となったのは、序盤でついでしまった点差だった。

途中から火がついた打線も時既に遅く、最終回の猛攻もこの得点差には僅かに及ばなかった……

此方も、横谷君の体調不良による降板。

守備の要である泰佑さんのわずかならのエラーによる失点。中盤から終盤戦にかけての相手打線と盗塁の二つの攻勢に苦戦。終盤戦での打線の失速はピッチャーである杉山所長の有効な援護にはならなかった。

しかしながら、結果的には一七対一四で此方側の勝利に終わる。勝者と呼ぶにはいささか苦しい勝利だったと、言えなくもないだろうか？。しかし、一方で練習不足ながらも有終の美を果たせた勝利者とも言えなくもないだろう。

ともあれ、結果が全てである。我らが園部共同作業所チームが一致団結して掴み取った勝利である。

勝利の歓声に、また、その美酒に酔いしれることに何者にもはばかられることがあろうか？。皆が自信を持ち、意気揚々と園部へと凱旋を果たした一幕だった。

以上

以上

以上

以上



編集後記

春以来、食欲がなく、何を食べても「おいしい」という感覚がなく困っています。病院へ行っている検査をしてもわかりませんが、異常がなく原因がわからないのです。
 歳をとると味覚が落ちると聞きますが、それでしうか。